

調布・生活者ネットワーク

88
2010.7.20

〒182-0022 東京都調布市国領町4-36-24 TEL042-487-3087 FAX042-487-3090
発行 調布・生活者ネットワーク 郵便振替口座 00190-2-707740

▶ 墨田区内の路地尊



雨水を貯めて都市型洪水に強いまちに

貯めれば天水(めぐみの雨) 流せば洪水

世界的に頻発する都市型洪水は、都市生活の利便性・快適性を追い求めて、降った雨は速やかに下水道や川に流すまちづくりを進めてきた結果ともいえます。雨を地中に浸み込ませたり屋根に降った雨水を各家庭で貯留したりすれば、雨が一度に下水道に流れ込んで下水が溢れるという事態を防止できるのではないのでしょうか。

ドウマンジュ恭子は、第二回定例議会で行った一般質問で、雨水を管理し活用する先進事例を紹介し、雨水貯留の施策を進めるよう要求しました。

頻発する都市型洪水

都市化が進み、地表面の舗装などによって、雨水が短時間のうちに大量かつ急激に流出するようになったことに加えて、低平地の住宅化と温暖化によるゲリラ豪雨で深刻な浸水被害が起きています。

調布市でも2005年9月の夜半、1時間に100ミリを越す集中豪雨のため、入間川が氾濫して床上浸水の被害も出ました。

調布市においても今後の雨水の浸透、貯留、利用から排水にいたる総合的な雨水管理のあり方が問われています。

雨を貯め利用する… 墨田区の取り組み

頻発する集中豪雨にどう対処するか、墨田区は先進的な取り組みを進めています。

墨田区は、1981年に台風の影響による大規模な都市型洪水に見舞われ、錦糸町や両国地区を中心に、1500世帯を越す浸水被害を受けました。この時の経験を

もとにした職員提案がきっかけとなり、区役所内部での雨水利用の検討が始まりました。両国駅前の江戸東京博物館、両国国技館は雨水を貯留し、雑用水に使っています。また、現在建設中の東京スカイツリーの地下にも雨水貯留タンクが設置されています。

1995年には「墨田区雨水利用推進指針」が策定され、区の施設では出来るだけ雨水を利用することになりました。



墨田区庁舎の地下には一トンのタンクがあり、雨水をトイレや空調に利用しつつ、管理システム

室で調整され、豪雨時には貯留できよう常時監視しています。

さらに「集合住宅条例」を制定し、2008年からは500平方メートル以上の集合住宅の開発に

条例や制度を整備する

関しては、雨水利用を義務としました。区民に対しても雨水利用を指導するとともに、雨水タンクの設置に4万円から100万円までの助成をしています。

また、区内21箇所を設置されている「路地尊」には、周辺家屋の屋根に降った雨が雨どいを經由して地下タンクへ貯められています。散水、災害時の消火用水など地域コミュニティで活用され、管理は地元住民が行い、路地を守るシンボルとなっています。

こうした取り組みにより、現在では24の区の施設、400箇所を越す個人住宅、民間のビルなどで雨水貯留、雨水利用が実現しています。



▲ ドウマンジュ恭子

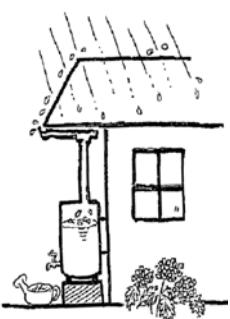
雨水貯留槽の助成を復活し、まちにダムを

調布市では、雨水浸透ますについては設置費用の全額助成、設置指導を行っています。その一方で、雨水貯留槽設置については、助成を今年度から廃止しました。助成申請の減少をその理由にしていますが、市としてもどの程度雨水の貯留に熱意を持って広報してきたのか疑問です。

今回の一般質問では、調布市でも、雨水利用を推進するための指針や条例などの法的整備を行い、設置可能な額での雨水貯留槽の助成を復活させるべきと要求、質問しました。

それに対して、今後地球温暖化対策、今年度中に策定する下水道総合計画で検討し、雨水貯留、雨水利用を図ることで、都市型水害による被害の防止に努めたいという答弁を得ることができました。

雨水の浸透とともに、市のいたるところで水を貯めれば、局地的なゲリラ豪雨にも、日常や災害時の生活用水にも対応できる「まちのダム」ができ、上流の水を収奪するダムに頼らずに済みます。生活者ネットワークは総合的な視点で雨水利用を含めた水循環を提案していきます。



風・まち・人

気軽に楽しく 手話ダンス

「手話ダンススマイル」はダンスを楽しみながら手話も学べる一石二鳥のダンスグループです。音楽にのって準備体操を行い、基本的なステップを初歩から学びながら、手話表現で楽しく手話ダンスをしています。歌に合わせてのダンスですが、言葉一つひとつを手話で表すというより、耳の不自由な方が見て内容がわかるような手話をつけていきます。



▲ たづくりでステージ発表

月に2回、たづくりでの練習には耳の不自由なメンバーも参加しています。耳の不自由な人もそうでない人も一緒にダンスを楽しみながら仲間づくりをめざしています。今年度は、たづくりでのハートふえーるコミネットのまつりに参加し、世界共通の手話「アイラブユウ」のロゴがいたおそろいのTシャツを着て出演しました。新しい仲間はいつでも大歓迎です。どうぞ代表までご連絡ください。

代表 市原タカ子
04244836233